TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　397語

The Owl and the Grasshopper

フクロウとバッタ

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Claire Schreuder

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　昼間ねむっているフクロウのそばで、バッタがうるさく歌います。おこってもやめないバッタに、フクロウはやさしく話しかけて……。



The Owl always takes her sleep during the day. Then after sundown, when the rosy light fades from the sky and the shadows rise slowly through the wood, out she comes ruffling and blinking from the old hollow tree. Now her weird "hoo-hoo-hoo-oo-oo" echoes through the quiet wood, and she begins her hunt for the bugs and beetles, frogs and mice she likes so well to eat.

Now there was a certain old Owl who had become very cross and hard to please as she grew older, especially if anything disturbed her daily slumbers. One warm summer afternoon as she dozed away in her den in the old oak tree, a Grasshopper nearby began a joyous but very raspy song. Out popped the old

Owl's head from the opening in the tree that served her both for door and for window.

"Get away from here, sir," she said to the Grasshopper. "Have you no manners? You should at least respect my age and leave me to sleep in quiet!"

But the Grasshopper answered saucily that he had as much right to his place in the sun as the Owl had to her place in the old oak. Then he struck up a louder and still more rasping tune.

The wise old Owl knew quite well that it would do no good to argue with the Grasshopper, nor with anybody else for that matter. Besides, her eyes were not sharp enough by day to permit her to punish the Grasshopper as he deserved. So she laid aside all hard words and spoke very kindly to him.



"Well sir," she said, "if I must stay awake, I am going to settle right down to enjoy your singing. Now that I think of it, I have a wonderful wine here, sent me from Olympus, of which I am told Apollo drinks before he sings to the high gods. Please come up and taste this delicious drink with me. I know it will make you sing like Apollo himself."

The foolish Grasshopper was taken in by the Owl's flattering words. Up he jumped to the Owl's den, but as soon as he was near enough so the old Owl could see him

clearly, she pounced upon him and ate him up.

Flattery is not a proof of true admiration.

> **Do not let flattery throw you off your guard against an enemy.**

和訳 フクロウとバッタ（The Owl and the Grasshopper）

フクロウは、いつも昼間にねむります。そして日がしずみ、空のバラ色の光がきえて、森にかげがゆっくりとひろがるころ、古い木のうろから、羽をふくらませ、目をぱちぱちさせながら出てきます。やがて、ふしぎな「ホー、ホー、ホーーー」という声がしずかな森にひびき、フクロウは、大すきな虫やカブトムシ、カエルやネズミをさがしはじめます。

さて、ある年よりのフクロウがいました。年をとるにつれて、とてもおこりっぽく、気むずかしくなっていました。とくに、毎日のねむりをじゃまされるのが大きらいでした。ある夏のあたたかい午後、フクロウが古いカシの木のすでうとうとしていると、近くでバッタが、楽しそうだけれど、とてもガラガラした声で歌いはじめました。年よりのフクロウは、戸とまどのかわりになっている木のあなから、ひょいと顔を出しました。

「あっちへ行っておくれ」とフクロウはバッタに言いました。「おぎょうぎというものを知らないのかい？せめて年よりをうやまって、しずかにねむらせておくれ！」

けれどバッタは、フクロウが古いカシの木にいてもいいのと同じように、ぼくだってお日さまの下にいていいはずだと、なまいきに言いかえしました。そして、もっと大きな、もっとガラガラした声で歌いはじめました。

かしこい年よりのフクロウは、バッタと言いあっても、いや、だれと言いあっても、何にもならないことをよく知っていました。それに、昼間は目がよく見えないので、バッタにふさわしいばつをあたえることもできません。そこでフクロウは、きついことばを言うのをやめて、とてもやさしく話しかけました。

「そうですか」とフクロウは言いました。「どうせ起きていなければならないのなら、あなたの歌をゆっくり楽しむことにしましょう。そういえば、オリンポスから送られてきた、すばらしいぶどう酒があります。アポロンの神さまが、えらい神さまたちの前で歌う前にのむものだそうですよ。どうぞ上がってきて、このおいしいのみものをいっしょにあじわってください。きっと、アポロンの神さまのように歌えるようになりますよ。」

おろかなバッタは、フクロウのおせじにすっかりだまされてしまいました。バッタはフクロウのすへぴょんととび上がりました。でも、年よりのフクロウにはっきり見えるところまで近づいたとたん、フクロウはとびかかって、バッタを食べてしまいました。

おせじを言われたからといって、ほんとうにほめられているとはかぎりません。

> **おせじを言われても、てきへの用心をわすれてはいけません。**

たんご と クイズ フクロウとバッタ

Owl フクロウ	**tree** 木	**beetles** カブトムシ
mice ネズミ	**Grasshopper** バッタ	**song** 歌
window まど		

Q1 フクロウがいつもねむるのは、いつ？

① 夜　② 昼間　③ 朝だけ

Q2 フクロウが、きついことばをやめたのはどうして？

① バッタがすきになったから　② ねむくなったから　③ 昼間は目がよく見えないから

Q3 フクロウは、バッタを何でさそった？

① すばらしいのみもの　② おいしい草　③ きれいな花

こたえ

Q1 ②　フクロウは昼間にねむって、日がしずむと木のうろから出てきて、虫やネズミなどのえものをさがします。

Q2 ③　昼間は目がよく見えず、バッタをつかまえられないので、やさしいことばでさそうことにしたのです。

Q3 ①　アポロンの神さまが歌う前にのむという、すばらしいのみものがあるから、いっしょにのもう、とさそいました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Claire Schreuder（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。